



株式会社 UKCホールディングス 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス  
 コード番号 3156 URL <http://www.ukcgroup.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部門、財務部、  
 総務人事部門担当 (氏名) 田口 雅章 TEL 03 (3491) 6575  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	164,092	13.3	3,172	△27.4	3,114	△17.4	1,792	△9.4
25年3月期第2四半期	144,772	4.3	4,371	100.3	3,769	119.2	1,978	168.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,596百万円 (56.8%) 25年3月期第2四半期 1,655百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	114.16	—
25年3月期第2四半期	125.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	132,586	47,360	35.5	2,994.95
25年3月期	114,223	45,402	39.4	2,869.23

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 47,015百万円 25年3月期 45,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	1.9	7,400	0.5	7,000	△14.2	4,500	△10.5	286.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	15,700,021株	25年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,685株	25年3月期	1,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	15,698,432株	25年3月期2Q	15,699,396株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。なお、当社は、平成25年11月22日（金）に機関投資家、証券アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、デフレからの脱却と経済再生の実現に向けた各種政策等の効果により、企業活動を中心に改善が見えましたが、個人消費等の実体経済の本格的な回復には至っておりません。また、海外に目を転じますと、長引く欧米の債務問題や、中国をはじめとした新興国の成長鈍化等が、引き続き景気の下振れリスクとなっております。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、コンパクトデジタルスチルカメラ、パソコン、携帯型音楽プレーヤー等の従来型のデジタル家電製品の市場は停滞傾向にある一方、スマートフォン、タブレット端末等の市場は拡大を続けるなど、二極化傾向が見られます。また、拡大基調のスマートフォン市場におきましても、コンシューマー向けの製造・販売から撤退するメーカーも出てくるなど、同一カテゴリー内での競争が激化しております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中核事業であるソニー製の半導体・電子部品事業をさらに強化するとともに、EMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大や新規事業の創出に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,640億92百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は31億72百万円（前年同期比27.4%減）、経常利益は31億14百万円（前年同期比17.4%減）、四半期純利益は17億92百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

平成25年11月1日に発表いたしました通り、海外事業を中心に事業本体は順調に進捗し、売上高は前年を上回りました。しかし、海外連結子会社におきまして、回収に疑義の生じた売掛金に対して保守的にその金額（1,045百万円）を貸倒引当金に計上したことにより、販売費及び一般管理費が大幅に増加いたしました。このため、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は前年を下回る結果となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しております。

#### ・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、イメージセンサーやタッチパネルを中心としたスマートフォンやタブレット端末向け製品の販売が好調で増収となり、売上総利益も増加しました。しかし、前述の通り貸倒引当金1,045百万円を計上したことにより貸倒引当金繰入額が増加した結果、セグメント利益は大きく減少いたしました。

以上の結果、売上高は1,555億88百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は31億93百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

#### ・電子機器事業

電子機器事業におきましては、景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資に改善が見られ、一般企業、監視カメラ顧客、教育機関、医療向けを中心に売上が伸長いたしました。しかし、販売費及び一般管理費も増加したため、セグメント利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は78億66百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期は32百万円の利益）となりました。

#### ・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスの活性化に伴い、売上、利益ともに伸長いたしました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数の減少に伴い、業績は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は11億74百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は94百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して183億63百万円増加し、1,325億86百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加49億49百万円、受取手形及び売掛金の増加124億55百万円、商品及び製品の増加11億87百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 164 億 5 百万円増加し、852 億 26 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 197 億 28 百万円、短期借入金の減少 31 億 89 百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少 19 億 46 百万円、未払法人税等の減少 14 億 14 百万円、長期借入金の増加 29 億 98 百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して 19 億 57 百万円増加し、473 億 60 百万円となりました。これは主に四半期純利益 17 億 92 百万円、利益剰余金からの配当 6 億 27 百万円、為替換算調整勘定の増加 9 億 9 百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額 8 億 8 百万円、少数株主持分の減少 14 百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次の通りであります。  
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、75 億 40 百万円（前年同期は 74 億 54 百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（31 億 5 百万円）、売上債権の増加（96 億 72 百万円）、たな卸資産の増加（9 億 9 百万円）、仕入債務の増加（162 億 90 百万円）及び法人税等の支払額（23 億 48 百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2 億 58 百万円（前年同期は 12 億 61 百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（1 億 65 百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、40 億 71 百万円（前年同期は 57 億 21 百万円の獲得）となりました。これは主に、運転資金のための短期借入金の純減少（41 億 81 百万円）、長期借入れによる収入（39 億 79 百万円）、長期借入金の返済による支出（31 億 73 百万円）及び配当金の支払額（6 億 27 百万円）によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期には、部品事業やEMS事業における海外での増収が想定を若干上回るなど、事業本体は順調に進捗いたしました。一方、連結海外子会社におきまして、回収懸念債権に対する貸倒引当金 1,045 百万円を計上したことにより、販売費及び一般管理費が大幅に増加したため、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、不確定な要素が多いことから、前回公表の予想値を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要素によりこれら業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。詳細は、平成25年11月1日に公表いたしました「貸倒引当金繰入額の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,601	17,551
受取手形及び売掛金	65,119	77,575
商品及び製品	23,304	24,492
仕掛品	297	529
原材料及び貯蔵品	489	717
その他	6,680	5,743
貸倒引当金	△144	△106
流動資産合計	108,349	126,502
固定資産		
有形固定資産	2,076	2,368
無形固定資産	461	482
投資その他の資産		
投資有価証券	2,427	2,305
その他	984	2,046
貸倒引当金	△76	△1,117
投資その他の資産合計	3,336	3,233
固定資産合計	5,874	6,084
資産合計	114,223	132,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,371	55,100
短期借入金	20,937	17,747
1年内返済予定の長期借入金	4,295	2,348
未払法人税等	2,056	642
賞与引当金	420	430
その他	1,932	2,225
流動負債合計	65,014	78,495
固定負債		
長期借入金	2,610	5,608
退職給付引当金	627	627
役員退職慰労引当金	37	38
その他	531	455
固定負債合計	3,806	6,730
負債合計	68,821	85,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	34,361	35,525
自己株式	△1	△2
株主資本合計	45,085	46,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363	263
為替換算調整勘定	△406	502
その他の包括利益累計額合計	△42	766
少数株主持分	359	344
純資産合計	45,402	47,360
負債純資産合計	114,223	132,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	144,772	164,092
売上原価	135,100	154,385
売上総利益	9,672	9,706
販売費及び一般管理費	5,301	6,534
営業利益	4,371	3,172
営業外収益		
受取利息	13	22
受取配当金	20	25
仕入割引	3	3
受取手数料	0	0
その他	74	145
営業外収益合計	113	196
営業外費用		
支払利息	150	138
売上債権売却損	21	5
為替差損	530	82
その他	11	27
営業外費用合計	715	254
経常利益	3,769	3,114
特別利益		
固定資産売却益	1	2
その他	—	0
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産処分損	6	5
投資有価証券評価損	20	—
退職特別加算金	497	—
その他	4	7
特別損失合計	529	12
税金等調整前四半期純利益	3,241	3,105
法人税等	1,273	1,317
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	1,787
少数株主損失(△)	△10	△4
四半期純利益	1,978	1,792



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	1,787
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△65	△100
為替換算調整勘定	△247	909
その他の包括利益合計	△312	808
四半期包括利益	1,655	2,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,665	2,601
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,241	3,105
減価償却費	234	258
投資有価証券評価損益 (△は益)	20	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	△2
退職特別加算金	497	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17	992
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,506	△9,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,535	△909
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,883	16,290
その他	△1,772	△83
小計	△5,898	9,979
利息及び配当金の受取額	34	47
利息の支払額	△150	△138
法人税等の支払額	△1,439	△2,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,454	7,540
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△379	△165
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△13	△3
子会社株式の取得による支出	△100	—
定期預金の預入による支出	△1,394	△600
定期預金の払戻による収入	660	600
その他	△36	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,261	△258
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,486	△4,181
長期借入れによる収入	2,066	3,979
長期借入金の返済による支出	△223	△3,173
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△549	△627
少数株主への配当金の支払額	△4	△10
その他	△53	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,721	△4,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	1,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,997	4,912
現金及び現金同等物の期首残高	16,765	10,561
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△390	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,377	15,473

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	137,046	6,706	1,019	144,772	—	144,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	429	—	437	△437	—
計	137,055	7,136	1,019	145,210	△437	144,772
セグメント利益	4,286	32	118	4,437	△66	4,371

(注) 1. セグメント利益の調整額△66百万円には、セグメント間消去取引△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△64百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	155,586	7,331	1,174	164,092	—	164,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	535	—	536	△536	—
計	155,588	7,866	1,174	164,629	△536	164,092
セグメント利益又は損 失(△)	3,193	△0	94	3,287	△115	3,172

(注) 1. セグメント利益の調整額△115百万円には、セグメント間消去取引△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける販売体制の再編等により、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管しております。また、前連結会計年度まで、報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を、配賦不能費用として全社費用に含めておりましたが、セグメント別の損益をより明確に表示するために、第1四半期連結会計期間より、各セグメントへ配賦することに変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメント区分及び配賦基準に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。